

定例公安委員会開催概要

1 開催日

令和3(2021)年2月10日

2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

■全体会議

【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「先ほど確認させてもらったが、2年続けて懲戒処分者が出なかったことは、大変喜ばしいことだと思っている。長年取り組んできた様々な施策がここに来て身を結んできていると思うが、当然のことながら、いつまでも続くとは考えてはならないだろうし、過去にも、数年このような事案の発生が少ない、或いはゼロの年もあったが、その後に多数の不祥事や処分者が出てしまうというようなことも起きている。決して気を許すことの無いようにこれからもしっかり取り組んでいただきたい。もうひとつは、タイトルを間違っって購入してしまった本であったが参考になる内容であったので紹介したい。その本には無駄の定義が書かれていて、無駄を取り除くということについて、大手自動車メーカーの生産方式を紹介していた。そのメーカーでは無駄の考え方として7つあって、作り過ぎ、手待ち、運搬、加工、在庫、動作、不良品を無駄として、これらを少なくしていくことが自動車生産の最も根幹となることのであった。さらに、これを家庭の中に置き換えてみると、非常に分かりやすいと書いてあり、例えば、『作り過ぎ』は、沢山作って冷蔵庫に入れておいても結局悪くしてしまうこと、『手待ち』は家庭の中でパソコンを起動させる時間をただぼーっと待ってること、『運搬』は、別のところから料理の材料を運んで来る。ストックヤードから運んでくる距離のことで、いかに近くに置くかと言うことが大事であると言っている。また、『加工』は切れない包丁を使い作業効率が下がること、『在庫』は、安いからと言って沢山購入して、結局腐らせてしまうこと、『動作』は、台所のレイアウトが悪いというようなことで、洗い場や調理場、レンジの場所が遠いと効率よく出来ないこと、『不良品』は、工場でも家庭でも同じだと思うが、失敗作を作り続けることがそれぞれ無駄になってしまう。このような無駄を取り除くために、そのメーカーでは『自動化』、通常『動』という字が充てられるところを『働』という字を充てて、単なる自動ラインだけでなく必ずそこに人間が介在するということや「ジャストインタイム方式」、「5S」という整理、整頓、清掃、清潔、躰を徹底することなどを紹介していた。誤って購入した本であったが結果的には無駄ではなかった。参考にさせていただきたい。」

旨の発言があった。

【警務部議題】

○ 指導者に対する講習会の開催結果について

警察本部から、「指導者に対する講習会の実施について報告する。心の健康相談を担当していただいている臨床心理士を講師に招き、部下職員の特性を理解した指導方法を習得し、ハラスメント事案を始めとした各種非違事案の未然防止を図る目的に、昨年9月から11月まで6回実施した。これまで次長や各署の課長等を対象に実施していたが、今年度は、部下を指導する立場にある警部補以下の職員114名を対象に実施した。講習会の内容は、職員の特性に関する講義のほか、部下の指導で苦勞した事例や部下との意思疎通で困った事例等、自らの経験を基に受講者同士で検討した。それぞれ事例を共有することにより様々な対応などが検討されたほか、講師からも具体的なアドバイスを受けるなど有意義な講習会であった。」旨の報告があった。

《 委員発言 》

「非常に良い取組と考えている。総合監察時に署員から話を聞くと、部下の指導について学ぶ機会がないということをお話しており、これは警察に限らずほかの組織でも同じだと思う。共通の理解を広げる意味でも良かったと思うので、来年度以降も続けていただきたい。」

《 委員発言 》

「コロナ禍でコミュニケーション不足が懸念される中、ワークショップの取組は効果的である。全く違う立場の人たちが集まってお互いを理解し合う良い機会であり、今後は色々な世代の意見を交流させる場があっても良いと思う。」

→本部発言

「引き続き、関係所属とも連携を図り、対象や場所等を検討して推進してまいりたい。」

【生活安全部議題】

○ サイバー犯罪の現状と被害防止広報について

警察本部から、「昨年、県内のサイバー犯罪関連の相談受案件数は、暫定値で2,643件で前年同期比で637件増加した。相談内容は『詐欺や悪質商法等の被害に関するもの』が全体の約40%を占めているほか、『迷惑メールに関する相談』が230件増加したが、これは宅配業者を騙った偽ショートメッセージに関する相談が増えたことが要因である。また、新型コロナに関連するものについては、『名誉毀損、誹謗中傷、脅迫による被害に関するもの』や『迷惑メール、スパムメールによる被害に関するもの』のほか、Twitterで某病院が新型コロナウイルス陽性患者がいることを隠蔽しているとのデマが拡散されているなどの相談があった。さらに、スミッシングというSMSを悪用してフィッシングサイトに誘導する新手の手口が見られた。これら相談への対応として、サイバー犯罪対策課のTwitterでは、最新の手口の紹介や被害防止のための対策等をタイムリーに発信するなどの対策を講じている。」旨の報告があった。

《 委員発言 》

「刑法犯認知件数の減少と反比例して、サイバー犯罪関連の相談が増えているが、

今年も増えていくと思っている。サイバー関連の被害は世界中何処で発生してもおかしくないわけで、岩手県内でも多発する可能性があるので、相談対応については感度を高めていただきたいし、特にパソコンやスマートフォン等に強い警察官を育てる必要性は高いと思う。またスミッシングの話があったが、今後も新しい手口は出てくると思うので、タイムリーな情報発信が重要である。県ではT i k T o kを利用して広報を始めるとの報道を見たが、何が見られる媒体なのかということについて感度を高め、1番効果的な広報を常に考えていただきたい。」

《 委員発言 》

「宅配業者を騙った偽ショートメッセージを受けたことがあるが、タイミングが重なれば信じてしまうこともあると思う。コロナ禍の中でネットで買い物をされる方も増えているので、新しい手口の事例を紹介する広報に努めることが大事である。今後コロナの予防接種に関するものも考えられるので、早め早めの対応をお願いしたい。」

《 委員質疑 》

「ぴかぽメールの登録者数はどの位か。」

→本部発言

「1万人余である。今後も普及に努める。」

《 委員発言 》

「情報発信が1番効果的である。高齢者の方に登録してもらうことが重要であり、テレビ番組の中で取り上げるなど、定期的にやってもらうような働きかけを進めていただきたい。」

→本部発言

「現在も、テレビのコーナーで取り上げていただいております、今後も幅広く進めてまいります。また、巡回連絡では、高齢者の方に直接登録方法を教示しており、今後も推進していく。」

【刑事部議題】

○ 令和2年刑法犯認知・検挙件数及び犯罪率について

警察本部から、「令和2年刑法犯認知・検挙件数及び犯罪率について報告する。これまで暫定値を報告していたが、この度確定したことから改めて報告するものである。刑法犯認知件数については、2,553件で戦後最小値であり、ピーク時であった平成9年の約1万6,000件に比べ6分の1程度になっている。罪種別では、凶悪犯が35件で前年より5件増加、風俗犯が47件で前年より19件減少した。検挙件数については1,521件で、前年より329件減少した。犯罪率については、208.1件で前年より38.7件低下し、全国第1位の低い数値であった。」旨の報告があった。

《 委員発言 》

「犯罪率が全国で1番少ないことは、それだけ安全安心な県だと思う。改めて感謝申し上げます。」

【交通部議題】

○ 自動車専用道路の供用に伴う交通規制の実施について

警察本部から、「自動車専用道路の供用に伴う交通規制の実施について公安委員会の意思決定を仰ぐものである。意思決定を仰ぐ場所は、令和3年3月中に供用が予定されている三陸沿岸道路の洋野種市ICから侍浜ICの間、宮古盛岡横断道路の平津戸松草道路、宮古箱石道路の川井箱石地区及び墓目腹帯地区となる。三陸沿岸道路の侍浜IC、洋野有家IC及び洋野宿戸ICの各ランプウェイは、設計速度に合わせて指定最高速度40km/h規制を実施するもので、本線の速度規制については、剛性中央分離帯構造となることから、既に供用されている洋野種市ICから青森県境に実施している指定最高速度80km/h規制の延伸変更で対応することとし、交通部長の専決となる。宮古盛岡横断道路の平津戸松草道路、宮古箱石道路の中の川井箱石地区及び墓目腹帯地区の本線車道については、剛性中央分離帯区間は指定最高速度80km/h、簡易中央分離帯区間の一般道路及び自動車専用道路から一般道路に直接接続する交差点の手前は指定最高速度60km/h規制を実施する。川井箱石地区及び墓目腹帯地区には、道路管理者が『上川井接続』『茂市接続』と呼称しているインターチェンジに類似した構造の本線への接続道路が2箇所あり、いずれも設計速度に合わせて指定最高速度20km/h規制を実施する。その他、一時停止や指定方向外進行禁止規制を実施するが、これらの交通規制については、交通部長の専決となる。」旨の説明があり、決裁をした。

《 委員質疑 》

「川井箱石地区と墓目腹帯地区について、20km/h規制というものはあまりなく、自動車専用道路への接続部分の多くは40km/hと思うが、今回は特別の事情か。」

→本部発言

「委員御指摘のとおりであり、設計速度に合わせた規制である。曲がり角が厳しい道路形態であるため20km/h規制としたものである。」

《 委員発言 》

「いずれにしても、本線と合流地点のスピード差が大きく危険が伴うと思うので、安全対策を講じていただきたい。」

■個別会議

○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁
酒気帯び運転被疑事件における処分量定についての説明、決裁

○ 警務課

警務課業務報告、決裁

○ 総務課

公安委員会あて苦情の受理・処理の説明、決裁